

伊左治直 密林の楽士

世界初演

Sunao Isaji: Jongleurs Jungle with lyrics by Keiko Niimi (world premiere)

松井慶太プロデュース
A Project by Keita Matsui



野澤松也
語り(兵士の物語)



松井慶太
指揮



伊左治直
作曲

2021年11月18日(木)
19:00 開演 (18:15 開場)

トーキョーコンサーツ・ラボ

東京都新宿区西早稲田 2-3-18
東京メトロ東西線「早稲田」徒歩7分

入場料 3500円
〈50席限定・全席自由〉

Peatix



チケットのご予約
▶ Peatix ● <https://toconlab20211118.peatix.com/>
お問合せ
▶ 東京コンサーツ 03-3200-9755 (平日 11:00~16:00)

兵士の物語

ストラヴィンスキー

Igor Stravinsky: The Soldier's Tale

日本語版



尾池亜美
ヴァイオリン



新美桂子
歌・語り・作詞(密林の楽士)



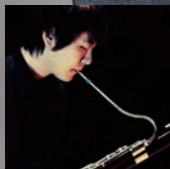
東 紗衣
クラリネット



地代所 悠
コントラバス



菊本和昭
トランペット / コルネット



中川日出鷹
ファゴット



新野将之
打楽器



村田厚生
トロンボーン

この演奏会は ただならぬ 演奏会に なるでしょう!

——松井慶太

近年円熟みを増した伊左治直の新作《密林の楽士》は《兵士の物語》と同じ編成で世界初演。ストラヴィンスキー《兵士の物語》では、新進気鋭のヴァイオリニスト尾池亜美さんを筆頭に選りすぐりの奏者による演奏。そしてこの物語のキーパーソンとして、歌舞伎義太夫三味線だけでなく創作浄瑠璃も手がけるという離れ業をやっている三味線界のエヴァンジェリスト、野澤松也さんを語りにお迎えしてお届けいたします。

ストラヴィンスキーと三味線の弾き語り、このコラボレーションはおそらく史上初。以前から演劇、映像、複数のナレーター、いろいろな情報が交錯する《兵士の物語》に疑問を感じておりました。今回は音楽と語りのみ! 生きた言葉を浄瑠璃で届けることができる野澤さんでなければ実現し得ないことです。コロナ禍の今だからこそ、言葉と音楽だけで何かを感じてもらいたい。

果たしてどの様な化学変化が起きるのか!? ジャンルを越えたこの挑戦をお楽しみに!

松井慶太 Keita Matsui (指揮・プロデュース)

1984年青森県八戸市生まれ。2007年、東京音楽大学指揮科卒業。指揮を広上淳一、汐澤安彦に師事。2009年、第15回東京国際音楽コンクール入賞・奨励賞受賞。これまでに、ライブツィン交響楽団、プラハ交響楽団室内オーケストラ、ドノウ交響楽団、東京シティ・フィル、日フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪響、九響、京響、群響、札幌響、セントラル愛知響、仙フィル、名フィル、山響、東京室内歌劇場等を指揮。2008～2014年には、N響定期演奏会にてデュトワ、ミョンファン、ルイーダ、ソヒエフらのもとで合唱指揮を務め、公演を成功に導く。2017年からはオーケストラ・アンサンブル金沢、伝統芸能 & 室内オペラシリーズを指揮し、好評を博している。2011～2018年東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンス。

伊左治直 Sunao Isaji (作曲)

現代音楽系の作曲や即興演奏から、ブラジル音楽のライブなど、様々な活動を展開している。サッカーや映画、日本史、時代劇、民俗学の愛好家でもあり、それらの興味は作曲へ強く影響を与えている。作品集 CD に『熱風サウダージ劇場』がある。主な活動として、ラジオオペラ『密室音響劇《血の婚礼》』制作、『無垢の兆——八村義夫生誕八十年祭』の監修、ジャック・タチ映画祭『プレイタイム』70mm フィルム特別上映会のオープニングライブ、近作に雅楽作品《紫殿御物語》、声明・謡・民謡・ポップスの共演と映像による《ユメノ湯巡り》、声ノ道行、鼓童とオーケストラのための《浮島神楽》などがある。これまで日本音楽コンクール第1位、現音作曲新人賞、芥川作曲賞、出光音楽賞、「南蛮劇場——伊左治直 個展」にて佐治敏三賞などを受賞。なお、頻りに間違えられるが「伊左治」や「伊左地」ではなく「伊左治」が正確な表記である。

野澤松也 Matsuya Nozawa (語り・浄瑠璃三味線)

広島出身。16歳の時、国立劇場第一期文楽研修生となり、研修後は、野澤松之輔師の内弟子となる。国立劇場文楽公演で初舞台。その後、師匠の他界の為、文楽を辞め1980年に松竹歌舞伎に入る。1999年、重要無形文化財総合指定保持者になる。2004年『創作浄瑠璃の会』を設立して創作浄瑠璃の弾き語りを開始。2016年、『三味似粋人 JAPAN』を設立。全国(松竹歌舞伎)にて、演奏する傍ら、国立劇場研修生講師、学習院大学非常勤講師。「日本の伝統文化は地球を救う!」をキャッチフレーズに掲げ、ライフワークとして、昔話や民話、土地に伝わる話等を浄瑠璃風にアレンジした作品に作曲し、「創作浄瑠璃」を生み出し続け、一人でも多くの人たちに「三味線や浄瑠璃」を身近に触れてもらえる機会を作ろうと、弾き語りライブ活動を行い、小学生から大人まで日本各地で伝えている。

新美桂子 Keiko Niimi (歌・語り・作詞)

東京音楽大学卒業後オランダに留学、ロッテルダム音楽院にて作曲を学ぶ。帰国後、国内外で活躍する音楽家や美術家、ダンサーら協力のもと、銀座のギャラリーを拠点とするアートレベル pboxx を設立。全国各地の美術館やイベント施設での企画展示及び演奏会をプロデュースする傍ら、バンドを複数結成し自らも演奏する。近年は、合唱や歌曲の作詩他、映像制作、イベントの広報物や CD ジャケットデザインなども手掛けている。

尾池亜美 Ami Oike (ヴァイオリン)

東京都生まれ。東京藝術大学を安宅賞、同声会賞、アカンサス賞を受賞し卒業。ローザンヌ高等音楽院修士課程修了。英国王立北音楽院、グラーツ芸術大学にて研鑽を積む。日本学生支援機構(JASSO)大賞受賞。青山音楽賞バロックザール賞受賞。江藤俊哉ヴァイオリンコンクール優勝。日本音楽コンクール第1位、聴衆賞、黒柳賞、レウカディア賞受賞。マンチェスター国際ヴァイオリンコンクール優勝、委嘱作品最優秀演奏賞。Ensemble FOVE、アミティ・カルテット、紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。東京藝術大学講師。

地代所悠 Yu Jidaisho (コントラバス)

東京藝術大学卒業、同大学院修了。コントラバス奏者としてソロ、アンサンブル、オーケストラと活躍、様々なアーティストのサポートやレコーディングへの参加や、楽曲提供や編曲でも活躍している。昨年コロナ禍において、短編映画『何者でもない』を発表、同作のサウンドトラック《SOMEWHERE NOT HERE》をリリース。以後積極的にオリジナル作品を発表している。Ensemble FOVE、ぼんだウインドオーケストラ、STAND UP! ORCHESTRA、イルミナートフィルハーモニーオーケストラ、レギュラーメンバー。クリエイティブチーム sa-ju を主宰。YAMAHA SLB 使用アーティスト。

東紗衣 Sae Higashi (クラリネット)

東京藝術大学、同大学院を経てケルン音楽大学を最優秀の成績で卒業。近年においては首都圏を拠点に国内オーケストラの客演首席、NHK-FM「リサイタル・パッシオ」に出演、TVドラマや映画、ゲーム音楽の劇伴録音など、クラシックからポップスまで幅広い分野で活動している。2013～2015年兵庫芸術文化センター管弦楽団コアマンバー。
公式ウェブサイト saehigashi.amebaownd.com

中川日出鷹 Hidetaka Nakagawa (ファゴット)

京都市立芸術大学卒業。パリ地方音楽院、フランクフルト音楽大学大学院及びドイツ、アンサンブルモデルンアカデミー修了。2014年度、京都市芸術文化特別奨励賞受賞。明治安田クオリティオブライフ文化財団海外音楽研修生。Ensemble FOVE、Orchestra Lucerne Festival Alumni メンバー、東京音楽大学非常勤講師。

菊本和昭 Kazuaki Kikumoto (トランペット/コルネット)

NHK 交響楽団首席トランペット奏者。京都市立芸術大学大学院首席修了。フライブルク音楽大学、カールスルーエ音楽大学で学ぶ。第72回日本音楽コンクール第1位および増沢賞、E. スミス国際トランペットソロコンペティション第2位などを受賞。これまでに早坂宏明、有馬純昭、呉信一、A. プログ、R. フリードリッヒ、Dr. E. H. タール各氏に師事。東京藝術大学非常勤講師。2021年2月、2枚目となるソロ CD 『OKER』をリリース。

村田厚生 Kousei Murata (トロンボーン)

桐朋学園大学音楽学部卒業。ドイツ学術交流会(DAAD)給費留学生としてベルリン芸術大学卒業。サントリーホール・サマーフェスティバル等内外の主要な現代音楽祭に出演。ユニット「コンテンポラリー・デュオ 村田厚生 & 中村和枝」でドイツ、スイス5都市のリサイタルを行った。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。

新野将之 Masayuki Nino (打楽器)

国立音楽大学打楽器科を首席で卒業。PAS 国際打楽器コンクール(イタリア)、チェジュ国際金管打楽器コンクール(韓国)、日本国際打楽器コンクールにて最高位受賞。ダンスやパントマイムを取り入れた独創性あふれる表現を得意とし、地域創造公共ホール音楽活性化事業アーティストとしても活躍。これまで発表した CD 『スネアは唸り、そして飛翔する』(2017年)、『Pisca-Pisca』(2021年)はいずれも好評を得ている。

*本著作物の上演使用は、全音楽譜出版社および Chester Music Ltd. により許諾されています。

*本公演は新型コロナウイルス感染予防、拡散防止への対応策を徹底した上で実施いたします。

- 電車 ▶ 東京メトロ東西線「早稲田駅」下車 徒歩6分(出口2・3bより穴八幡神社方面へ)
東京メトロ副都心線「西早稲田駅」下車 徒歩10分(出口2)
JR山手線・西武新宿線「高田馬場駅」下車 徒歩18分
- バス ▶ JR山手線・西武新宿線「高田馬場駅」早稲田口より都バス
「早大正門」行「西早稲田(学02)」下車 徒歩2分
「九段下」「上野公園」行「西早稲田」下車 徒歩4分

